

## 2022年度 LCA国際小学校 学校関係者評価結果

2022年度、LCA国際小学校では、新たに「グローバルな視野をもち、自己肯定感、Well-beingが高い児童を育成するための教育のさらなる向上」を中・長期の重点目標として学校運営を行ってきました。

特に今年度は「児童がWell-beingを高めるための物の見方や考え方などを知る機会を増やす。」「多様な個性の児童に対応できる教育体制を向上させる。」を重点目標としてきました。さらに教育活動と学校運営に分けた上で、目標を具体的に設けて学校運営を行い、児童アンケート・保護者アンケート・教職員アンケートの結果も踏まえて、自己評価を行いました。

2023年2月には保護者の代表(低学年・中学年・高学年より1名ずつの参加)にお集まりいただき、学校関係者評価委員会を実施しました。当日は学校側から自己評価の結果を説明した後、学校への要望や期待について率直なご意見をいただき、保護者の視点を知るための機会といたしました。いただいたご意見等は、今後の教育活動や学校改善計画の参考として活用してまいります。

### 学校自己評価を受けての感想、また学校への要望・希望など (保護者意見より)

#### Well-beingを高めるための機会について

- ・「小学6年間を楽しく過ごして欲しい、小学生時代に心を壊して欲しくない。」と思い、学校見学を行い、子どもたちが楽しく過ごす様子を見て学校を決めた。実際学校に通う子どもたちから、1度も「学校に行きたくない。」という発言を聞いたことがない。
- ・いつも細やかに子どもたちを見てくれている。
- ・自分の子どもは、5年間「学校を休みたくない。」「休みはいらぬ。」という気持ちで、毎日学校を楽しく過ごしている。

#### 多様な個性の児童対応について

- ・スクールカウンセラー、非常勤講師、進路指導など、本当に多くの先生方が、多様な子どもに細やかに対応してくれている。

#### 教科指導(English Math)

- ・子どもは英語算数を楽しんでいる。
- ・本科で英語算数を取り、スペシャルレッスンの算数も取るとギャップに苦戦している。

#### 児童支援・指導

- ・1年生で行動に問題がある子の保護者から、対応が細やかで感謝しているという声を聞いている。
- ・低学年の段階から算数を嫌いや苦手になった場合、中学高校でも苦手意識が続いてしまうので、低学年のうちの個別で細やかな指導を行っていることは素晴らしいと思う。

#### 保護者連携

- ・今までは、学校の様子は気になっていたが、連絡がないことは問題がないことと思っていたが、2,3か月に1度連絡がもらえるようになり、学校の様子が知れて嬉しい。
- ・担任から些細な連絡をこまめにくれることは嬉しい。

#### 地域連携

- ・東京家政学院大学や相原高校のお姉さん・お兄さんたちとたくさん遊べて楽しめていた。

#### 研修

- ・先生方はGoogle Classroomを使いこなしていますし、オンライン授業も全員が行えているという状況は、日頃から研修を重ね、勉強しているためだと感じている。